



## SLP元年を「ボランティア・ルネッサンス」への一里塚に

新年早々の国際金融市場の動揺は、渋沢栄一流に言えば「論語なき算盤」の暴走を制御できないグローバル経済の脆弱さを改めて想起させるものでした。「経営学の神様」と呼ばれ、最高の文明史家であったピーター・ドラッカーは、生前こうした状況を早くから予測し、資本主義社会が生き延びるための不可欠のインフラとして非営利組織というカウンターカルチャーの必要性を強調していました。ドラッカーは、「弱肉強食社会」と批判されるアメリカが世界一のボランティア大国という側面を有していると指摘するとともに、寺子屋や町火消しといった組織が活躍していた江戸時代の日本を、非営利組織社会の原点として高く評価していたのです。

東北大震災の後に示されたボランティアの活動は、こうした伝統が生き続けていることの証左でしょう。私自身、キワニスクラブの活動を通じて日本社会が如何に多数で多様な非営利組織によって支えられているかを実感しました。

2014年の50周年、15年の国際キワニス100周年という大きな節目を超えた東京クラブにとって、2016年のスローガンは、若者と共に歩むSLP(サービス・リーダーシップ・プログラム)元年ということになるでしょう。1月9日(土)に座間のアメリカン・ハイ・スクール内で、キワニスクラブが支援する同スクールの生徒による日本地区初の「キークラブ」、東京クラブ初のSLPの認証式(チャーター・セレモニー)が開催されました。キワニスの発祥地アメリカ出身の高校生達の澁刺とした言葉



を聞きながら、SLP活動の将来に思いを馳せた一日でした。日本地区のSLPは2014年、芦屋キワニスクラブ多田元会長のイニシアティブで成立したサークルKを嚆矢とし、まだ発展途上です。アジア太平洋でも最大のSLP活動を誇る台湾地区で開催される3月のASPAC総会は、日本地区SLPの発展にとって絶好の機会です。多くの会員方の参加を期待しています。

ネーミングに批判のあった安倍内閣の「一億総活躍社会」を、菊池桃子さんは、「社会的包摂」(ソーシャル・インクルージョン)と再定義しました。そのために必要なのは、江戸時代から続く非営利組織の伝統を再興する「ボランティア・ルネッサンス」ではないでしょうか。キワニスクラブの活動を通じて少しでもそのお役に立てたらと思っています。

(吉國眞一会長)

## 日本初のキークラブが座間アメリカン・ハイスクール・キークラブに誕生

東京クラブがスポンサーとなって日本初の高校生のキワニス・ファミリー・クラブであるキークラブが座間のアメリカン・ハイスクール(AHS)に誕生いたしました。8月に日本地区のSLP委員会から紹介されて、スポンサークラブになることを理事会で承認を得て、本部との手続

きを進め9月30日付けで正式に承認を得ました。大分待たされましたが、漸く認証状授与式に必要なバナー、認証状などが届いて1月9日に学校内講堂にて認証状授与式を開催し、キークラブの一番舟を出航させることが出来ました。認証状授与式には、座間AHSからアンジェリカ・

ボーリン会長以下キークラブ会員が24名(全員で31名)、学校側アドバイザーのミシェル・シマー先生、校長先生であるグレッグ・モウアン博士ほか学校関係者、父兄や家族など30名、それにキワニス側から倉田ガバナーほか日本地区、東京クラブ併せて15名が出席し、盛大なものとなりました。式典では、シマー先生、多田日本地区SLP委員長、吉田東京クラブ・アドバイザーの挨拶に続き、倉田ガバナーからボーリン会長に認証状が手渡され、日本で初めてのキークラブの門出が祝福されました。その後ボーリン会長から意欲的な抱負が述べられ、会員全員によるキークラブのプレッジが唱和されました。会員のフルート演奏に引き続き、モウアン校長から若い時のキワニスのコ

ミュニティーサービスに対する感動に触れられながら今後の座間 AHS キークラブの活動への支持と期待が述べられ、式典が締めくくられました。式典に引き続き、ライブラリーで懇親会が開催され、座間 AHS とその父兄が用意してくれたお祝いの七面鳥の丸焼きとサンドイッチやスナックを味わいながら和気藹々のパーティとなりました。老いも若きも集って盛んに意見を交換し交流を深める場となりました。サークル K 設立を検討中の武蔵野大学から6名の学生さんが参加され、若い人たちの国際交流の場となったことも大変良い機会でした。

(吉田浩二前会長)



## アメリカインディアナ州ラフィエットクラブとの姉妹クラブ関係合意書

昨年10月21日、ラフィエットクラブの会長である尾形隆彦氏が来日中に東京クラブの火曜例会に参加され、意見交換をされた折に、姉妹クラブになって共通の奉仕活動の取組みや文化交流、人材交流を図ったらどうかと

いう話になり、双方の理事会に諮り、姉妹クラブ関係樹立に基本的に合意しております。11月初旬には、藤原前会長(次期日本地区ガバナー)に返礼としてラフィエットクラブを訪問し、クラブ役員と意見交換をしていただけ、お互いの意志を確認してもらっています。現在、双方で合意文書、共通の奉仕活動、交流などの詳細について詰めているところです。来る6月のトロント国際年次総会の折に本部役員を招いて合意文書調印の式典を開催し、第一回の合同会議を開いて総意を結集し、実のある姉妹クラブの関係の樹立と共通の奉仕活動などを展開していきたいと考えています。ラフィエットクラブは、今年で100周年の歴史を持つアメリカの代表的なキワニスクラブのひとつで、国際本部のあるインディアナポリスの北西60kmあたりのラフィエット市に所在し、近くには有名なパデュー大学や富士重工の米国工場があるところです。また尾形氏は、日本人で初めての会長です。

(吉田浩二前会長)



## 第2回「子ども食堂」

何と言っても、思わず子ども達から歓声が上がったのは伊藤一実さん扮するサンタさんの登場でした。

☆

12月21日(月)3時半からの子ども食堂は「豊島区民ひろば上池袋」に於いて、地域のNPO・ソーシャルワーカー及び学会館精養軒等半年前の同じメンバーとのチームワークで行われました。

ハヤシライスや果物に舌鼓を打った後、子ども達は順次ロビーでの3つのコーナーに移り、ピアノ・トランペットと一緒に「皆で唄おう」・伊藤夫人和美さんとご友人に依る「大判紙芝居」・地域の方の指導での「輪ゴムブレスレット作り」で楽しいひとときを過ごしました。

そしてサンタさんから手渡しのプレゼント（お菓子やミニタオルなど）を手に、足取り軽く帰途につきました。

この日は小中学校が大掃除の為下校が遅く、47名の地元参加者の多くは母親付添の小さなお子さん（母子家庭の皆さん）と成りました。

尚、当方は会員22名・その家族友人6名が参加致しました。

今後、定例化する上池袋でノウハウを積み重ねると共に、他の場所でも地域の協力が得られれば積極的に開催して参ります。皆さまからの情報・要請を歓迎致します。

(鈴木祐二事業企画委員長)



## 第2回「子ども食堂」に参加して

昨年の12月21日に開催されました第2回「子ども食堂」に参加させて頂きました。東京キワニスクラブの今後の大きな柱の一つになることを期待されているという事をお聞きし、参加と言うよりも先ずその内容やその活動の良さを知ることが目的にお手伝いとして参加させて頂きました。皆で食べる食事の楽しさだけでなく、歌や紙芝居等小さな子どもたちが喜びそうな様々な趣向が準備



されていました。最後はトランペットと合唱で大いに盛り上がり、参加して頂いた子どもたちやキワニスメンバーの笑顔の中で約2時間位でしたかあという間の時間でした。この活動は、子どもたちと直接に会ってふれ合って話して、彼らの成長に少しでも繋げることが出来るという点で大変有意義と感じています。特に子どもたちの純粋な気持ちや行動は我々の中にずっと伝わってきます。今回は一回目と比べると時期的な事もあり参加者が少なかったという事ですが、より多くの方が参加頂けるように一工夫加えれば更に有益なものになると思います。私自身の出来ることは限られていますが、今後も積極的に参画して行きたいと考えています。

(木本健青少年教育委員長)

## 児童虐待防止オレンジリボンたすきリレー 2015.10.25

11月は児童虐待防止推進月間ということで、毎年10月の最終日曜日に子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレーが行われます。昨年は10月25日の日曜日に第9回が開催されました。東京キワニスクラブはこのイベントを後援・協賛しており、第1回から参加しています。当クラブには東京タワーから泉岳寺までのたすきリレーとランナーの応援、児童虐待防止推進のためのチラシやオレンジリボン配りなどが割り当てられています。



今年も快晴に恵まれ、東京キワニスクラブユースフォーラムの明治学院大学 JUNKO Association の若さ溢れる会員達がランナーとして参加してくれました。東京キワニスクラブのメンバーと記念写真を撮り、バンド演奏、参加者に対するインタビューなどで盛り上がった後、10時20分、盛大な拍手でランナーの皆さんを送り出しました。

その後は東京タワーを訪れた観光客の方々に対するチラシやオレンジリボン配りですが、ここでの主役は荒木会員の可愛いお二人のお子さんです。私たち会員はどちらかといえば裏方に徹することになります。お二人の大活躍で今年も無事ミッションを終えましたが、荒木会員ご一家には改めて心からの感謝を申し上げる次第です。また当日は尾崎会員、木本会員のサッポロフード&ビレッジ株式会社からスポーツ飲料を寄贈いただきました。合わせて厚くお礼申し上げます。

東京キワニスクラブは今後も児童虐待防止活動の推進に積極的に取り組んでまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(細田久雄ボランティア活動副委員長)

## オレンジリボンたすきリレーの応援に初めて参加して

昨年10月25日(日)、雲一つない秋晴れの朝、東京メトロ・日比谷線の神谷町駅から東京タワーに向かいました。何年振りでしょうか、スマホで道順を確認しないと行き方も忘れてしまっていました。桜田通りは予想外に人通りも少なく、寂しいくらい。さすがに東京タワーに近づくと、観光客らしき人たちの姿が数多く見られ始め、たすきリレーの受付も出来上がっていました。細田副委員長のご指示に従い、受付でオレンジリボンのゼッケンを借りて体につけ、チラシを観光客の皆さんに配り始めました。荒木さんの可愛いお子さんたちが一生懸命配ってくださったので、チラシは比較的短時間で配布終了。外人観光客の姿も大分増えてきました。この間に渋谷駅ハチ公前広場をスタートしたリレーメンバーが約1時間かかって東京タワー下に到着。当地スタートのメンバーと合流(一部の人は交替)して、次の目的地である泉岳寺に向かいました。今回は出迎えと見送り、チラシ配りのお役目でしたが、次回以降チャンスがあればリレーメンバーとして参加することも考えてみたいと思います。

さて、昔から親が子どもを叱ることはありましたし、私自身もよく親や近所のおじさんに怒られたものです。しかし、児童虐待と呼ばれるレベルになると、とても愛

情を持った叱り方とは言えない。一人でも被害に合う子どもたちが少なくなるよう我々大人たちが、「OSEKKAI」することで、若いお父さん、お母さんをサポートし、子どもたちを虐待の被害から守っていく。こうした活動に参加できたことで、たくさんの方々がボランティア活動をされていることに気付けた一日でありました。参加できましたことに感謝、関係者の皆さまにお礼申し上げたいと思います。昨年先輩経営者の方に言われた言葉、「子ども叱るな歩いてきた道、年寄笑うなこれから行く道」を胸に抱いて毎日を過ごしたいと思います。

(山下朗裕ボランティア活動委員)



## キワニス・ユースフォーラム(KYF) 学生団体の自主交流会開催

平成 27 年 11 月 7 日、国際基督教大学において KYF メンバーの自主企画による交流会が初めて開催されました。参加団体は明治学院大学 JUNKO Association、国際基督教大学劇団「虹」、身延山高校手話コミュニケーション部、田園調布学園家庭部の 4 団体でした。圧巻だったのは、劇団虹と身延山高校の手話のコラボレーションによるミュージカル公演でした。演目は劇団虹の創作ミュージカル「ココと魔法のコンパス」。聴覚障害の子ども達がわかるようにミュージカルを一部手話で演じるという野心的な企画でしたが、身延山高校の協力による手話の振付けはリズムカルで素晴らしいものでした。インターネットを通じて両校の間で練習を重ねたということでその努力に頭が下がります。ミュージカルのほか参加 4 団体それぞれの活動報告と展示が行われ、意見交換がなされました。東京キワニスクラブからは吉田、吉國新旧会長を含む 5 会員が参加して楽しい時間を学生たちと共にすることができました。

続いて 12 月 13 日(日)には上智大学「めぐこ」が幹事役となって自由学園で 2 回目の自主交流会が開かれました。この催しにはキワニス会員は参加しませんでした。KYF からは「めぐこ」のほか自由学園「ネパールワー



キングキャンプ」、「JUNKO」(前記)の 3 団体、それに KYF 以外の 6 団体を加えた計 9 団体(約 50 名)が活動報告と課題や悩みについて座談会形式での意見交換が行われたということです。

このような KYF の新しい動きは、これまでキワニス主催で実施してきた交流会からメンバー同士の横のつながりが生まれ、それが自主企画の交流の場に発展したもので今後のさらなる発展が期待されます。大いに応援をしていきたいものです。

(中村禎良 K ファミリー委員)

## 2015年10月と2016年1月の国際役員会に出席して

10 月 6 日から 10 日まで、Sue Petrisin 新国際会長の下で初めての国際役員会がインディアナポリスのキワニス本部で開催されました。20 名の役員中 4 人が交替し、新しい役員体制でのスタートです。ペトリシン会長は、5 つあった委員会を 4 つの委員会にまとめ、1 人



の役員が 2 つの委員会に所属することになり、私は、Audit & Finance Committee と Public Relations, Image & Marketing Committee の 2 つの委員会に所属することになりました。また、今回の役員会を通じて大きく取り上げられたのは I-Plan というキワニスの 100 年の骨格となる戦略であり、どのように実りあるものにするかについての議論が第 2 日目に終日郊外の施設に籠って集中討論で行われました。この討論に当たっては、事前に全役員が自分の能力分野の分析をするテストを受け、その結果を共有しあい、委員会ごとにそれぞれの能力を共有し、補い合っただけでなく成果を高めてゆくかについて討論しました。

ペトリシン会長は、2016 年 1 月の委員会と役員会をすべてウェブ会議で行うという試みを実行しました。事前に膨大な資料が送られ、約 3 時間のウェブ会議が 1 月の第 1 週から毎週 1 回計 4 回行われました。時差があるため日本では午前 0 時から午前 3 時までになり、さすがに大変でした。しかし、20 人の役員を集めるために必要な旅費、滞在費を節約、そのために拘束される時間の節約等を考えると、意義のあるやり方だと思いました。ペトリシン会長は就任前に、従来の Distinguished Program 等

の表彰スキームを廃止することを宣言し、それに代わる Recognition のスキームを検討する 4 人の委員による特別検討委員会を発足させました。私もその 4 人の委員の一人に任命され、これも数回のウェブ会議による打ち合わせで新しい Recognition の案を作成し、役員会に提案しま

した。キワニスは 100 年の歴史を終え、初めて女性の国際会長によるリーダーシップのもとで次の 100 年に向けて第 1 歩を歩み始めました。

(北里光司郎国際理事)

## ペトリシン国際会長の訪日とSNSキャンペーン

ペトリシン国際会長が昨年 11 月 2 日に訪日しました。会長は、成田空港到着から直行して熊谷千葉市長を表敬訪問し、その午後にはサンケイ新聞のインタビュー取材を受け、夜には日本地区倉田ガバナー他リーダーシップチームとの会食懇談を行いました。翌朝、金沢に向かい、青年会議所の世界大会に出席し、国際青年会議所との提携関係についてスピーチを行い、金沢キワニスクラブのメンバーとも懇親の機会を持った後、11 月 6 日に東京に帰って来て、ユニセフ・ジャパンの早水専務理事と会食を行い、成田空港から帰国しました。5 日間の滞在でしたが、日本の要人とも会い、サンケイ新聞にも大きな記事が掲載され、日本地区キワニス会員とも懇談の機会を持ち、また最大の目的である国際青年会議所 (JCI) との提携関係の促進も深めることが出来、大変成果のある訪問

だったと思います。

ペトリシン会長は、就任前に KidsNeedKiwanis というキャンペーンを始めました。東京クラブの会員の有志が、発表と同時に自発的にプラカードにコミットを書き入れて投稿を行いました。更に日本地区役員会の後で多くの役員の方々がプラカードにコミット事項を書き入れ撮った写真を SNS に投稿しました。それらの写真が国際キワニスの KidsNeedKiwanis のサイトに掲載されています。このキャンペーンは、会員一人一人がお金をかけないで、SNS を活用してキワニスが子ども達の支援に役に立っていることを訴えようとするキャンペーンで、トロントの国際年次総会に向けて更に活発に進められる予定です。

(北里光司郎国際理事)

### Working as a Board

#### • Expectations



## 社会公益賞受賞団体が破傷風撲滅支援コンサートで募金

平成 25 年に東京キワニスクラブの第 47 回社会公益賞を受賞した東村山音楽愛好家協会からキワニス破傷風撲滅支援コンサート (入場無料、募金額は自由意思) を行うという案内をもらったので出かけてみました。同協会は長年にわたって阪神淡路大震災、東日本大震災における復興支援のため、特に震災で親を亡くした子ども達への支援のため、地域の幼稚園などで継続して募金コンサートを開催してきたほか、長年にわたり毎年自閉症やダウン症の子ども達のためのコンサートを実施し、これ

らの子ども達への福祉向上に努めてきた業績により社会公益賞を受賞しています。この受賞を契機に一昨年から破傷風撲滅支援コンサートを実施して集まった募金をキワニスのエリミネイト・プロジェクトへ寄付しています。今回のコンサートは昨年 11 月 1 日に東村山市の富士見公民館ホールで行われました。150 名ほど入れるこじんまりした会場でサクソ四重奏、ピアノ独奏、バリトン、ソプラノ独唱、箏曲演奏など協力演奏家によるバラエティのあるプログラムが展開されました。聴衆は地域住

民の方が多いように思いましたが、子どもや車椅子の人も数人いました。開会の際に代表の倉田博継氏から、世界の破傷風の現状やキワニスクラブがユニセフと協力してその撲滅のための募金を行っているの、それを支援する募金をお願いしたい旨の挨拶がありました。当日集まった募金5万5千円余は東京キワニスクラブのエリミネイト・プロジェクトに寄付されました。一昨年と同様に5万4千円余が寄付されています。会場の受付で来場者の一部から「キワニスとは何のことですか」と質問されましたが、キワニスの知名度が不十分なことを痛感しました。募金も有難いことですが、キワニスの活動の一端を紹介してもらえることも大事なことだと思った次第です。

(中門弘前社会公益委員長)



倉田代表の開会挨拶

## 「キワニスドールをつくる会」報告 2015.10~2016.1

昨年10月から1月にかけて、以下の学校、企業等の要望を受け、ボランティア活動委員会の委員を中心に会員が手分けして参加するほか、ボランティアグループのメンバーの支援も頂いて活発なドールづくりが実施されました。特にこの時期、学校の授業カリキュラムの中で毎年ドールづくりに取り組んで頂いている大妻中野高校においては、4日間、延12時間、232名の高校生に対し、18名の会員等が指導にあたり、愛情が込められた多くのドールが作製されました。

10月 田園調布学園、広尾看護専門学校 身延山高等学校、荏原看護専門学校

11月 田園調布学園、東京家政学院、東京子ども専門学校

12月 ウェルスファアゴ証券、JCB、茨城北西看護学校、MSD 妻沼工場

1月 大妻中野高等学校

これまでもそうでしたが、ドールづくりに参加された方々が、異口同音にドールづくりを通じて、「子ども達のため」であることもさることながら、それに参加してい

る「自分自身に満足感が感じられる」との感想をもたれておられるのが印象的で、今後さらなるニーズの広がりが予想されます(注)。皆様方の積極的なご参加をお願いいたします。

なお、ドールを自分たちのペースでグループ作製したいが、どうすればよいか、との申し出をいくつか頂いています。今後、会員以外の「指導員」制度を通じて、ドールづくりの輪を拡げていくことも視野に入れていく必要があるのではないか、との議論を委員会において重ねているところですが、皆様方のご意見を是非頂きたいと思っております。

(注) 昨年10月には、特定非営利活動法人サービスグラント(小林事務局員)から、企業CSRと連携するボランティア活動の実情(工夫、負担、効果等)について、詳細なヒアリングがありました。キワニスクラブのドールづくりの取組みが広く認識、評価される方向にあることを実感しました。

(片山仁志ボランティア活動委員長)



## キワニスドールをつくる会の準備について

キワニスドールをつくる会を開催する前の準備として、布きり、綿わけ等、会員各位にご協力いただいております。

ここで陰の力をご紹介させていただきたいと思います。

小野洋一郎会員は休会中ながら、時間調整と言って事務局にお立ち寄りくださり、反物からドール1個分の布に切ってくださいしています。

吉江誠会員、磯田壯一郎会員、吉田浩二会員、田口徹会員は500gの綿を50gずつに分けて下さっています。そして、綿を小さく袋詰めしていただくと、送るときに



大変便利です。

棚澤青路会員は一回に200枚ほどの表替えしとアイロンかけを引き受けてくださっています。表替えしは細心の注意が必要で、アイロンかけは体重をかけないと、綺麗に仕上がらないという大変な作業です。



いつもドールをつくる会にご協力くださっている星利樹会員、高坂和夫会員はドールをつくる会終了後にドールの出来上がり具合をチェックして下さったり、脇とじをして完成させて下さったりしています。

他にも多くの会員・家族・ボランティアの皆様にご協力いただき、滞りなくドールをつくる会が開催できることを感謝しています。

1時間でもお時間が空いたときには事務局にお立ち寄りいただき、ドールづくりの準備のご協力をお願い申し上げます。

(ボランティア活動委員会)

## 一般社団法人東京キワニスクラブの定時総会開催 2015.11.27

昨年11月27日、法曹会館2階高砂の間において、一般社団法人東京キワニスクラブの定時総会が開催されました。①この1年間の事業報告・収支決算、②公益目的支出計画の実施の監査、③平成28年9月期の理事の選任、の3点を議題として諮るためのものでした。

定款19条に基づき吉田会長が議長となり開会を宣言し、狩野事務局長から会員総数231名(定款5条2項によりサテライト会員は除く)に対し出席者63、委任状の提出77で有効な議決権数は140となり、総会員の議決権の過半数に達し、総会が有効に成立していることが報告されました。

まず第1号議案「平成27年9月期事業報告書並びに決算書について」資料に基づき、狩野事務局長から1年間の事業報告、鏡川財務委員長から収支決算報告が行なわれました。続いて伊藤監事から理事会その他重要な会議に出席するなど理事等の職務執行状況を把握し、監査の結果について事業報告、決算書類及び付属明細書は正しく示されていると認める旨の報告がありました。議長が第1号議案について諮り、満場一致で承認されました。

第2号議案 鏡川財務委員長より「公益目的支出計画実施報告」に関する報告があり、伊藤監事から監査を行なったところ、法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく示しているものと認める旨、報告がなされました。

吉田議長が第2号議案を諮ったところ満場一致で承認されました。

第3号議案「平成28年9月期一般社団法人東京キワニスクラブ理事について」吉田議長から理事会推薦の「理事の候補者一覧」資料に基づき説明があり、これを諮ったところ満場一致で承認されました。

以上で総会は終了し、新旧会長・事務局長から退任・新任の挨拶がそれぞれありました。また、その直後に開催された臨時理事会において、吉田理事が新会長に互選されたほか副会長・事務局長・委員長等の職務も決まり、新しい体制でクラブ運営が始まりました。

(狩野省市前事務局長)





## 靖国神社「慰霊の泉」清掃会

12月8日(火)午後2時から、靖国神社「慰霊の泉」の清掃会を実施しました。当日は、9名の会員が参加下さり、社務所から臨時に調達したのもも含め10本の箒を総動員して、「泉」の参道側、裏側、床面、水槽、周辺の銀杏の落葉のほか、植込みの灌木の下草、紙屑などを清掃し、あっという間に、見違えるようにきれいになりました。小春日和の暖かく穏やかな天候にも恵まれ、心地よい汗をかくさわや



かな一時でした。清掃の姿に興味をもたれた通りがかりの叔母様が、「こんなにいいことをしているのだから、きっと出世しますよ」と元気づけられました、「もう手遅れなんです」と答える和やかな一幕もありました。

「慰霊の泉」は、当クラブが、1967年4月18日に明治百年を記念して、靖国神社に献納した戦没者に水を捧げる母のモニュメント(注)ですが、当クラブ設立40周年記念に大改修した後、一昨年同50周年記念に際して、再び大改修(光触媒塗装、黒御影石設置、銘板英語表記追加等)を行い、厳粛さと清楚さが漂う慰霊碑となりました。

なお、会員有志が清掃して下さいます。会員の皆様におかれましては、お手際の折、自由に清掃して頂ければ「泉」も喜ばれると思われまます(箒は「泉」の裏側の近くに常時3本用意してあります)。

(注)本モニュメントには、ブーゲンビル島、グアム島、硫黄島、フィリピン・沖縄各地など51の戦跡の石を展示してあります。建設資金総額は1,600万円でしたが、主として会員並びに会員所属の会社団体からの寄付金でまかなわれました(設計は彫刻家の井上武吉氏、建設は北野建設株式会社)。

(片山仁志ボランティア活動委員長)

## 「新年互礼会」

恒例の新年互礼会は1月8日(金)5時半から「銀座ライオン/クラシックホール」に97名の出席を得て盛大に開かれました。

今回は、日頃キワニスドール作りで活躍しているパソナサテライトの中城奏さんが駆けつけ、歯切れの良い司会で会を進行して下さいました。

吉国会長のご挨拶・年男 & 女10名による鏡開きに続き、大正9年お生まれの関野会員のご発声で高らかに盃を上げました。

今回は少し簡素化を図って枀は廃止・福引無し。そして少し早めの7時には棚澤副会長のユーモアたっぷりの



お話で中締めと致しました。

(鈴木祐二事業企画委員会委員長)

## 青少年教育賞受賞団体 慶応義塾大学SFCサイバー防犯ボランティア研究会-その後

授賞後のフォローとして「研究会の活動状況」「ネット・スマホトラブル事例」「今後の活動の課題」について、11月7日・14日(土)の2日間に亘り各4時間計8時間の集中勉強会を行いました。

先方は岡部教授他学生5名。当方は会員8名に加え、小中学校のPTA会長・教育委員会指導教諭・慶大教員・大手学習塾関係者もセットして臨みました。

全く知らなかった怖い話もたっぷり聴き、世代が近い大学

生が実例を示して生徒たちにネットモラルリテラシーの啓蒙をする意義を皆身に沁みて再認識した次第です。

この勉強会を契機に学生の求めに応じてワークショップの候補先を紹介した結果、杉並の区立中学で2月に保護者向け、3月に生徒向けの特別授業を行なう事に繋がりました。今後も「賞」をそれだけに終わらせず、広く社会で役立つ活動が出来るようサポートを心掛けたいと考えます。

(青少年教育委員会)

2015年10月～2016年1月までの活動

2015年10月	2	第2211回例会(講師:栗林知絵子氏)
	6	火曜会
	6	日本醸造学会懇親会
	8	宝塚観劇会
	9	身延山高等学校キワニスドールをつくる会
	10	荏原看護専門学校学校祭ドールをつくる会
	10	エリミネイト・プロジェクト支援第14弾コンサート
	13	火曜会
	13	MSD(株)社会貢献プログラムドールをつくる会
	15	第23回ワインを楽しむ会
	16	第2212回例会(講師:金井義邦会員)
	17	田園調布学園ドールをつくる会
	19	靖国神社秋季例大祭
	20	火曜会
	20	第72回国際懇話会(講師:瀧 統氏)
	25	児童虐待防止オレンジリボンたすきリレー
	27	火曜会
27	第96回囲碁愛好会	
30	第2213回例会(講師:桜井 修氏)	
31	広尾看護専門学校学校祭ドールをつくる会	
2015年11月	2	スー・ペトリシン国際会長歓迎夕食会
	4	静嘉堂文庫美術館見学会
	7	埼玉クラブ チャリティディナーショー
	10	火曜会
	12	第78回日本酒を楽しむ会
	14	秋季ゴルフ大会(程ヶ谷CC)
	17	火曜会
	19	東京家政学院ドールをつくる会
	19	宝塚観劇会(星組公演)
	20	第2214回例会(講師:大桃美代子氏)
	21	田園調布学園ドールをつくる会
	23	第4回オペラを楽しむ会
	24	火曜会
	24	第97回囲碁愛好会
25	靖国神社春秋例大祭みたま祭直会	

11月	26	東京子ども専門学校ドールをつくる会
	27	第2215回例会 定時総会
2015年12月	1	火曜会
	1	新旧役員懇親会(学士会館)
	3	ウエルスファーゴ証券ドールをつくる会
	4	第2216回例会(講師:江川豪雄氏)
	7	JCB社会貢献プログラムドールをつくる会
	8	火曜会
	8	「慰霊の泉」清掃会
	10	第79回日本酒を楽しむ会
	12	第98回囲碁愛好会(大会&忘年会)
	13	第47回文楽を楽しむ会
	15	火曜会
	17	茨城北西看護専門学校ドールをつくる会
	17	宝塚観劇会(花組公演)
	18	第2217回例会(講師:坂口正芳氏)
	21	第2回「子ども食堂」
	22	火曜会
	22	MSD(株)妻沼工場社会貢献プログラムドールをつくる会
29	第九を聴く会	
2016年1月	8	第2218回例会 新年互礼会
	9	新春大歌舞伎
	12	火曜会
	15	第2219回例会(講師:阿部加奈子氏)
	19	火曜会
	19	大妻中野中学高等学校ドールをつくる会
	20	大妻中野中学高等学校ドールをつくる会
	21	大妻中野中学高等学校ドールをつくる会
	25	大妻中野中学高等学校ドールをつくる会
	24	大相撲初場所観戦会
	26	火曜会
26	第99回囲碁愛好会	
28	宝塚観劇会(月組公演)	
29	第2220回例会(講師:堤 晴彦氏)	

## 2016年2月～5月 今後の予定

2016 年 2 月	2	火曜会
	5	第2221回例会(講師:上方仁氏)
	5	明治安田生命 キワニスドールをつくる会
	7	第48回文楽を楽しむ会
	9	火曜会
	9	札幌クラブ雪まつり例会
	12	第80回日本酒を楽しむ会
	14	第48回文楽を楽しむ会
	15	第73回国際懇話会(講師:羽田浩二氏)
	16	火曜会
	18	第24回ワインを楽しむ会
	19	第2222回例会(講師:鏡川陽介会員)
	19	「あれから5年…三陸の旅」事前学習(予習)
	20	ジャックス キワニスドールをつくる会
	21	第48回文楽を楽しむ会
	23	火曜会
	23	第100回囲碁愛好会
24	静嘉堂文庫美術館見学会	
25	宝塚観劇会(宙組公演)	
2016 年 3 月	1	火曜会
	4	第2223回例会(講師:坂本博之氏)
	8	火曜会
	10-12	第41回ASPAC台中大会
	13-14	あれから5年…被災地を巡る、三陸の旅
	15	火曜会
	18	第2224回例会(講師:後藤奈美氏)
	19	松江クラブ設立10周年記念式典及び祝賀会
	22	火曜会
	22	第101回囲碁愛好会
29	火曜会	

2016 年 4 月	1	第2225回例会(講師:出口治朗氏)
	2	キワニスワンデー
	5	火曜会
	9	福岡クラブ設立40周年記念式典・祝賀会
	12	火曜会
	14	第81回日本酒を楽しむ会
	15	第2226回例会(講師:杉浦実氏)
	19	火曜会
	20	春季ゴルフ大会(泉CG)
	21	宝塚観劇会(雪組公演)
2016 年 5 月	26	火曜会
	26	第102回囲碁愛好会
	10	火曜会
	10	第103回囲碁愛好会
	12	第82回日本酒を楽しむ会
	17	火曜会
	20	第2227回例会(講師:林本久美子氏)
	24	火曜会
	27	第2228回例会 第66回ファミリーデー
	28	田園調布学園ドールをつくる会(土曜プログラム)
31	火曜会	

■平成28年1月31日現在 総会員数 233名

■平成27年10月1日から平成28年1月31日までに入会された方 6名

橋岡佐喜雄、山田明彦、西江 章、菅野良三、高橋蓉子、新木資明

## キワニスドールとは

身長約 40cm で体重約 50g、とても素朴な形で、目も鼻も口もありません。ただ一つ身に付けているのは、キワニスマークの小さなラベルだけです。

しかし、このちょっと風変わりな、ノッペラボウの小さな人形が普通の玩具の人形とは違った方法で、全世界の病気の子どもたちに大きな力を与えています。キワニスドールは、病気の子どもたちと仲良しになり、見守ることが使命です。

白い木綿生地にポリエステル綿を詰めただけのキワニスドール。ノッペラボウなのは、使う人が顔を描いたり洋服を描いたりすることができるようにしているためです。また、お医者さんや看護師さんが、治療の説明のために、人形に絵を描くこともできます。さまざまに描かれた人形は、病気のその子だけの人形になります。

キワニスドールは、メルボルンのナナワディング・キワニスクラブで、1988年に初めて作られました。メルボルンからオーストラリア全域で広がり、さらに1994年に北欧にも伝播しました。日本地区では2001年11月から取り組み始めました。現在では全世界のキワニスクラブでドールを制作して病院などに寄贈するという活動を行っております。

2009年から毎年、キワニスドールの利用実例などについての情報共有をはかり、作る側と利用する側双方の課題を議論し合う場として、キワニスドール・シンポジウムを開催しています。

キワニスドール (Kiwaniis Doll) を平成 18 年 7 月 14 日に、商標登録いたしました。

## エリミネイト・プロジェクトについて (破傷風から世界の母と子ども達を救おう)

### 国際キワニスとユニセフの協力で世界から妊産婦・新生児破傷風を撲滅します

2011年7月のジュネーブでの第96回国際キワニス年次総会に於いて、国際キワニスは、世界から妊産婦・新生児破傷風を撲滅するために2015年までに1億1千万ドルの募金活動を行うというエリミネイト・プロジェクトを正式にスタートさせました。この世界的なキャンペーン活動は、キワニスの国際ボランティアネットワークとユニセフの医療ネットワークの協力により進める歴史的なプロジェクトです。

エリミネイト・プロジェクトの基本データは次の通りです。

- 妊産婦・新生児破傷風は、スタート時は、9分に1人、毎日160人の赤ちゃんの命を奪っていたが、皆様のご支援のお蔭で、奪われる命が2015年9月現在11分に1人、毎日135人に減少した。
- 妊産婦・新生児破傷風は、1回60セント、計3回1.8米ドル (約180円) のワクチン注射で母と将来の赤



ちゃんの命を守ることが出来る。

- エリミネイト・プロジェクトは、6,100万人のお母さんと赤ちゃんを助けることが出来る。

### 日本は破傷風撲滅の先駆者—誇りを持ってこの活動を推進しています

2015年6月のインディアナポリスでの100周年の国際年次総会で、成果を「お祝いする」ことができました。

東京キワニスクラブは、先に達成した100Kクラブに続き、モデルクラブの目標\$165,000も5月20日に達成しました。

## キワニスクラブとは

キワニスクラブは、“世界の子どもたちのために”を合言葉に奉仕活動を行う民間の世界的な団体です。1990年からは、特に幼い子どもたちのための奉仕活動に力を入れています。名称のキワニスは、デトロイト周辺に住んでいたアメリカ原住民の言葉“Nun-Keewanis” (みんな一緒に集まる) に由来します。

キワニスクラブは、1915年1月21日米国デトロイト市で生まれました。当初はアメリカとカナダで発展していましたが、1963年にはヨーロッパ3都市に広がり、現在世界の約80ヶ国、7,500のクラブ、約21万人の会員が国際キワニスを構成し、その本部は米国インディアナポリスにあります。

日本では、東京キワニスクラブが1964年1月24日、アジア太平洋地域で最初のクラブとして設立されました。次いで名古屋、大阪、広島、神戸、仙台、札幌、横浜、高松、福岡、京都、千葉、和歌山、新潟、泉州、埼玉、西宮、福山、熊本、静岡、金沢、松江、鹿児島、芦屋、福島、大分、千代田、長崎、宮崎、佐賀、秋田、大垣、福井の順に生まれ、現在33のクラブで会員は約1,900名で活動しています。東京キワニスクラブは、1967年2月27日社会奉仕団体として初めて、厚生大臣より社団法人の認可を受けました。2012年10月1日に一般社団法人に移行しました。

一般社団法人 東京キワニスクラブ 会長 吉國 眞一 〒101-0047 千代田区内神田2-3-2 米山ビル

Tel: 03-5256-4567 Fax: 03-5256-0080 e-mail: [tokyokiwaniis@japankiwanis.or.jp](mailto:tokyokiwaniis@japankiwanis.or.jp) URL: <http://www.japankiwanis.or.jp/tokyo>